

## 2 発電所のけんせつ

河東町には、4つの水力発電所があります。これらの4つの水力発電所は、すべて日橋川の水を利用しています。また、河東町の発展<sup>はってん</sup>にはなくてはならないものだったのです。

### ○日橋川発電所

1911年（明治44年）12月28日、日橋川<sup>ぞ</sup>沿いの発電所ではもっとも古い発電所である日橋川発電所<sup>けんせつ</sup>が建設されました。この水力発電所は、列車に乗って広田から東長原駅の方に行くと、右側に見ることができます。

この発電所は、日橋川の水をせき止め、日橋川にそって約1000mの水路<sup>ほ</sup>を掘り、落差<sup>らくさ</sup>約15mの水力を利用して発電しています。発電量は、6700キロワットでした。

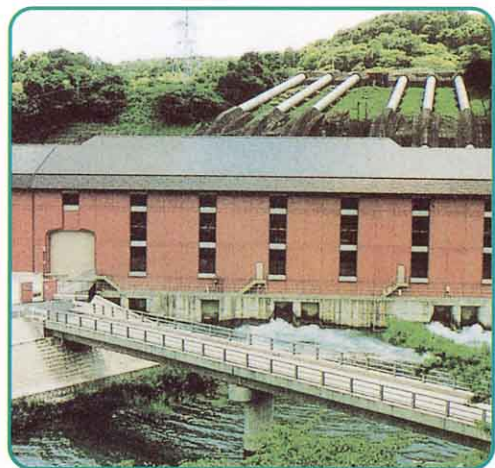


▲ 日橋川発電所

### ○猪苗代第一発電所

1912年（明治45年）3月、日橋川沿いにある水力発電所では最大の規模<sup>はば</sup>をもつ猪苗代第一発電所の建設が始まりました。

発電に使われる水は、日橋川から<sup>しゅすい</sup>取水し、2本のトンネルを通過して、長さ約35m、幅<sup>はば</sup>約39m、深さ5.25m～6.57mの貯水槽<sup>ちよすいそう</sup>にためられます。



▲ 猪苗代第一発電所